

実施結果報告書

1. 学校名 : 和歌山県 和歌山市立 有功東小学校					
2. 学習名称 : 和歌山バスさんから拓く ぼくらの和歌山市					
3. テーマ : ぼくらのまちの未来をつなぐ 和歌山バスと六十谷のこれから					
4. 実施教科 : 社会科					
5. 関連単元 : 日本文教出版「市のようすとくらしのうつりかわり」					
6. 実施単元数 : 3単元					
7. 学年	3年	8. クラス数	1	9. 生徒数	27人
10. 実施内容 ○対象学年 3年生 ○参加者数 27人 ○活動のねらい 和歌山市の学習に地元の公共交通機関を使用することをきっかけとして、JR阪和線や和歌山バスと自分たちの暮らしのつながりについて考え、その利用方法を学んだり、これからの和歌山と公共交通のあり方について考えていくことができる。 ○時期・内容・方法 1学期に和歌山市学習の中で数回、JR阪和線と和歌山バスを利用していく。学習の様子にも合わせながら2学期も同様に使用していく。子ども達にとってJR電車やバスが身近な存在にしていく。2学期の後半から、最寄駅の六十谷駅は利用者の減少により準無人駅化していることや和歌山バスの地元路線である六十谷線が廃線の危機に陥っていたこと事実と子ども達を出合わせ、どうしてそのような状況になっているのか、和歌山市と公共交通の問題点について調べ考えさせて、自分たちにできることは何かを考えて年度末いっぱいまで活動していく。					

1 1. 学習のながれ：

「和歌山バスが拓くぼくらの和歌山市」 学習の流れ

第1段階：和歌山市の探究（和歌山バス・JRを活用）

1. 和歌山市へ行こう！（JR・和歌山バスの利用体験）

- ・ JRや和歌山バスを使い、和歌山市の中心地を訪問。
- ・ 公共交通の仕組みや、移動の便利さ・大切さを体感する。

2. 和歌山市の農業とつながる（和歌山バスで農家訪問）

- ・ 4回にわたり、和歌山バスで農家を訪問し、農業の仕事や生産の現場を学ぶ。
- ・ 地域の産業と交通の関わりを考える。

第2段階：六十谷と公共交通の関係を探る

3. 六十谷線に乗ろう！（地域のバス路線を体験）

- ・ 2回にわたり六十谷線に乗り、実際の運行ルートや利用者の様子を観察。
- ・ バスの役割や地域との関わりについて考える。

4. 六十谷の昔の暮らしと和歌山バスのつながり

- ・ 和歌山市の歴史学習を進める中で、六十谷の昔の暮らしについて調べる。
- ・ 過去と現在の交通手段の違いを知り、六十谷線の役割の変化を考える。

5. 六十谷線の廃線危機について知る

- ・ 六十谷線が廃線の危機にあったこと、その背景や影響について学ぶ。
- ・ なぜ廃線の危機があったのか、地域の人々にとってどんな意味があるのかを考える。

第3段階：六十谷線と自分たちの未来を考える

6. 「六十谷線と六十谷の未来」について話し合う

- ・ 学んだことを整理し、六十谷線や地域の未来について意見を交わす。
- ・ 和歌山バスのあり方や、地域の公共交通を守るためにできることを考える。

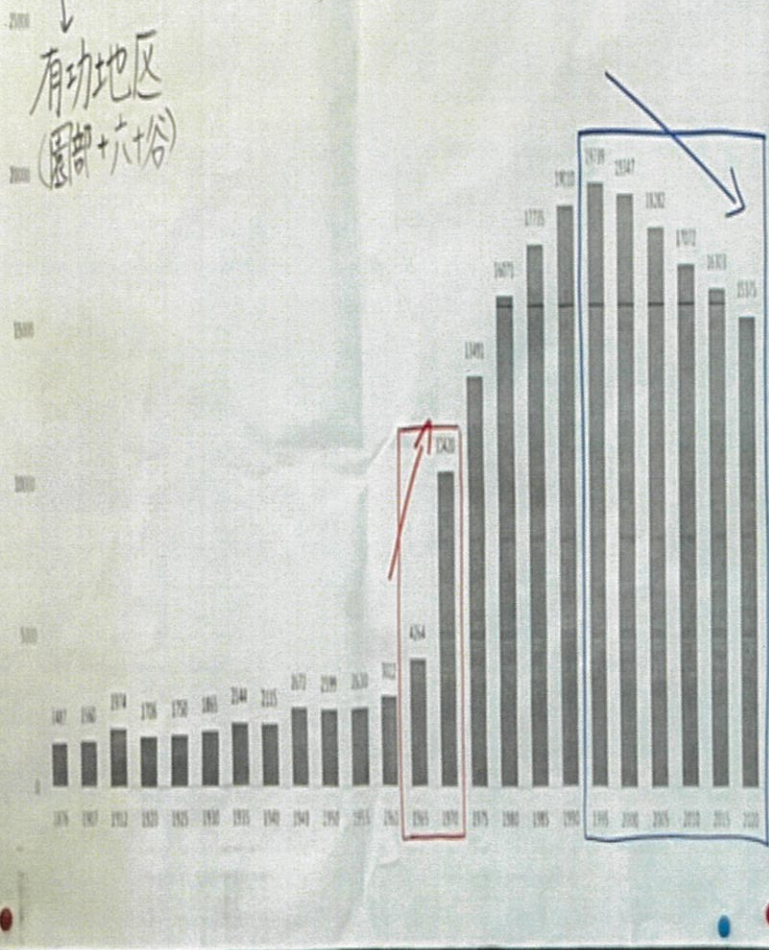
7. まとめと発表「ぼくらの和歌山バス提言」

- ・ 学んだことをポスターやプレゼンテーションにまとめ、発表する。
- ・ 六十谷線の未来について、地域の人や和歌山バスの関係者に伝える。

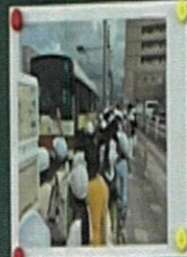
※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

3/21 和歌山バス 六+谷線を守るためにどんなことができるの？

六+谷の人口のワリがわり



何度も乗った和歌山バス 六+谷線



公共交通

みんなが下りても乗れる交通手段

(川和地区)

平日

1日7本

休日

1日5本

(鳴たき地区)

平日

1日4本

休日

1日5本

乗客が少なく赤字が続く

実際は...市のほじ金で継続運行してる

でも長くは続かない...市内全体のおどかせスポットとしてのバスに乗ればよい

どうすればよかたの？ スライド
募金活動とPR活動を行う。

チラシを作る。(六+谷線に乗ろう！今こまっています！みかものせる)

六+谷線のみかた？ 知ってもらおう！

目的地にちょうどよい所でありうる。ことできる。
ねだんも安くいどうできる。
お買い物にも行ける。
車のめんまがなくても運転がてねくてもOK!
六+谷のステキなところ(いやと神社、T&O、ノンダクなど)
六+谷駅が電車をえて旅ができる。

バス停、お店、電信柱、馬具にはるおく。
バスの車内、ラッピングで広告をする。

2022年 3月 21日 金曜日